

古墳における埴輪の意味

当時の姿を復元した保渡田八幡塚古墳(高崎市)における埴輪の配置やその意味について、かみつけの里博物館の横山学芸員に伺いました。



横山千晶さん

よみがえった古墳時代の姿

「保渡田八幡塚古墳は、5世紀後半に造られた、墳丘長約96mの前方後円墳です。史跡整備により築造当時の姿に復元しました。」

墳丘の外周には、円筒埴輪と上部がラッパのように広がっている朝顔形埴輪が幾重にも並べられています。これは、古墳の中に悪い物が入らないようにする結果のようなものと考えられています。

外堤には、盾を持った人の埴輪が並んでいます。最も外側で古墳を守る役割を担っていたのでしょうか。

埴輪が語る王の儀式

「この古墳の最大の特徴は、墳丘の南側の内堤から54体の人物・動物埴輪が出土したことです。6世紀の榛名山噴火に伴う泥流により、埴輪の下半分が配置や向きが分かる状態で残った、全国的にも珍しい例です。再現した54体の配置の意味にはいくつかの解釈がありますが、王が行った儀式を構成する複数の場面を表しているという学説に基づくと、座つて行う儀式やイノシシ狩り、財物の誇示など七つの場面が見て取れます。」

保渡田八幡塚古墳における埴輪の配置



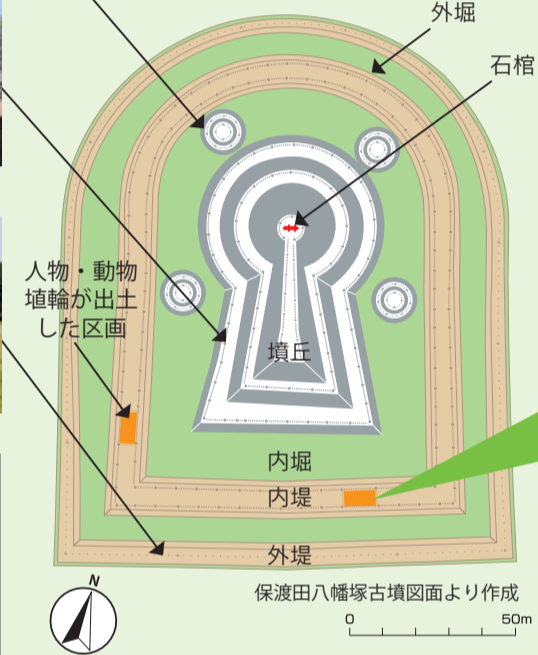
儀式が行われたと推測される中島



南東方向から見た墳丘



墳丘を囲む円筒埴輪と朝顔形埴輪



人物・動物埴輪が出土した区画



盾を持った人の埴輪

古墳の概要

- ・築造 5世紀後半
- ・全長 約190m
- ・墳丘長 約96m
- ・円筒埴輪 約6千本(推定)
- ・葺石 約39万8千個(推定)

54体の人物・動物埴輪(主な場面)

座って行う儀式



右手を差し出している人物が王。正面に座る巫女が壺を手向けている

イノシシ狩り



狩人が弓矢でイノシシを狙っている

財物の誇示



人や馬などが一列に並ぶ

考古学の研究は、発見された遺跡や出土品を基に仮説を立てて行われますが、仮説は一つとは限りませんが、本当かなと思ったら、自分なりの説を考えてみてください。たくさんの方に当館を訪れてもらい、考古学の『考える楽しさ』を感じてもらいたいです」

かみつけの里博物館

- 開園時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日
- 所在地 高崎市井出町
- 観覧料 一般=200円、大学・高校生=100円、中学生以下=無料
- ※障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料
- ☎ 027-373-8880
- FAX 027-373-8822

古墳や埴輪について学んでみよう!

◆県立歴史博物館

常設展示の「東国古墳文化展示室」で、東日本でも随一の副葬品・埴輪が見つかった綿貫観音山古墳(高崎市)の出土品を中心に展示しています。また「ぐんま古墳最前線」などの各種講座も開催しています。

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)

所在地 高崎市綿貫町

観覧料(常設展示) 一般=300円、大学・高校生=150円、中学生以下=無料

※障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料です。証明できるものをお持ちください

☎ 027-346-5522 FAX 027-346-5534



◆県埋蔵文化財調査センター発掘情報館

最新の研究成果などを展示する資料展示室や県内の遺跡から出土した埴輪・土器など約4千点を常時展示する収蔵展示室の他、埴輪や縄文土器、勾玉などを作る体験学習メニューを用意しています。



開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで、体験学習の受け付けは3時まで)

休館日 土曜日、祝日 所在地 渋川市北橋町

入館料 無料

※体験学習メニューは費用がかかります

☎ 0279-52-2513 FAX 0279-52-2904



◆ぐんま古墳探訪

県内の古墳のうち、史跡として整備が行われているものや石室などが見学できるものを中心に紹介しています。古墳時代の遺跡や出土品が見学できる博物館なども併せて紹介しています。

価格 918円(税込み)

販売場所 全国の書店、県庁県民センターなど

その他 古墳巡りに便利な県公式アプリ「ぐんま古墳探訪」もご利用ください。Googleマップと連携して、行きたいスポットに手軽にアクセスできる他、自分だけの周遊ルートも作れます

※ダウンロード方法は、右図からご覧ください

☎ 県庁文化財保護課 (027-226-4696 FAX 027-243-7785)



問い合わせ先

県庁文化振興課東国文化推進室 ☎ 027-226-2525 FAX 027-221-0300